

御 案 内

昭和58年度臨時総会 第2回学術大会開催
 日 時：昭和59年1月21日(土) 13時30分開催
 会 場：東日本学園大学歯学部 476 講義室
 臨時総会 13:30～14:00 学術大会 14:00～17:00
 会員多数の御参会を願います。 東日本学園大学歯学会

会費納入のお願い

正会員、準会員、賛助会員で昭和57、58年度会費の未納の方は、事務整理上至急ご納入下さるようお願いいたします。
 払込みは北海道銀行当別支店（普通No. 128259）宛、または同封郵便振替用紙をご利用下さい。（会計委員会）

原稿募集について

次号（第3巻、第1号）の発行日は昭和59年6月30日、この原稿募集締切り日は3月31日です。
 締切り期日を厳守の上、奮ってご投稿の程を願います。（編集委員会）

編 集 後 記

本年度より年間2冊発行となり、その最初の号をお届けいたします。

本誌の最下段には通巻頁数をつけております。会員各位の絶大なるご協力により第1巻と同様第2巻も総頁数は200を越すものとなりました。

今年は本学の学年進行最後の年で、明年3月は第1期生を社会に送り出すため、各講座とも総仕上げの教育に多忙を極めている折柄とて、投稿も少ないのではないかとやや心配をしていたところ、原著4編、臨床報告2編を頂き著者各位に感謝を惜しまない次第です。

総説には核医学会の権威者である笥弘毅教授に“歯科領域における核医学診療の現状”をお願いした。現在歯科での利用は医科に比し少ないものの、この最先端の解説で今後の応用拡大が期待される情報です。とくに中堅級以上の教官には当時の講義ではなかった興味深いものと思います。御多忙中快くご執筆を頂いた笥教授に心より深謝の意を表します。

学苑欄には、去る7月来日、ハードなスケジュールのなかをとくに堀越教授を訪ねて来学されたハンブルグ大学パイファー教授の講演を、原稿がないため当日の録音テープより苦勞されて翻訳されたものを特別講演として載せた。訳者の堀越、村瀬両先生に厚くお礼を申し上げます。

その他堀越専務理事より、ハンブルグ大学顎口腔外科学教室のご紹介と西独の歯科教育・卒後研修の現状について貴重な一文を頂いた。目下歯学教育学会においても種々論議されている問題でもあり、まことに時宜をえた有益な資料で、是非ご一読を願いたいものである。

ここに病院長の重職にあり公私ご多忙中の堀越先生のご労作に敬意と感謝の念を表します。（Y・O生）